

様式第7号 ガス漏れ火災警報設備の概要表記載要領

- | | |
|---------------|---|
| ① 検 知 器 | ・対象ガスの区分ごとに、検知器の個数を記入する。その他のものは、都市ガス用以外のガスをいい、この場合、検知対象ガス名をその他欄に記入する。 |
| ② 中 継 器 | ・回線数及び個数を記入し、電源供給方式について該当するものを選択する。予備電源を必要とするものは、電圧及び容量を記入する。 |
| ③ 受 信 機 | ・区分（G型、GP型、GR型等の別をいう。）、回線数（実装/容量）、附属装置、附属回路並びに予備電源の電圧及び容量を記入し、設置場所の階と室名を記入する。 |
| ④ 常 用 電 源 | ・自動火災報知設備に準じる。 |
| ⑤ 非 常 電 源 | ・非常電源設備の区分で該当するものを選択する。
・蓄電池設備を選択した場合、電圧及び容量を記入するとともに、充電方法及び使用別について該当するものを選択する。
・自家発電設備を選択した場合、容量を記入する。 |
| ⑥ 音 声 警 報 装 置 | ・増幅器出力及びスピーカー個数（設置対象階のみ）を記入し、非常放送設備との兼用の有無を選択する。 |
| ⑦ ガス漏れ表示灯 | ・該当するものに個数を記入する。 |
| ⑧ 検知区域警報装置 | ・同上 |
| ⑨ 配 線 | ・常用電源回路、非常電源回路、検知器回路、警報装置回路、その他の回路別に、施工方法について該当するものを選択する。 |
| ⑩ 工 事 者 区 分 | ・工事区分別に、工事会社名及び連絡先を記入する。 |
| ⑪ 製 造 者 名 | ・機器別に製造会社名を記入し、受信機並びに中継器については検定型式番号、検知器については(一財)日本ガス機器検査協会の型式番号を記入する。 |
| ⑫ そ の 他 | ・耐火電線等に接続部が生じる場合、該当する工法名を記入する。詳細については4.(2)⑨による。 |

ガス漏れ火災警報設備の概要表

様式第7号

① 検知器	検知対象ガス	空気より軽い都市ガス	空気より重い都市ガス	その他のもの		
	個数	26 個		個	個	
② 中継器	5 回線	12 個	電源	専用方法 受信機供給方法 その他の方法	予備電源 V AH	
③ 受信機	区分	G 型		回線数	16 / 20 回線	
	附属装置	副受信機・移報装置		附属回路		
	予備電源	24 V 1.65 AH		設置場所	1 階 防災センター	
電 源	④ 常用電源	[单相] ・ 三相 AC 100 V		[電灯回路] ・ 動力回路		
		DC V AH	充電方法	トリクル・浮動	使用別 専用 ・ 共用	
	⑤ 非常電源	蓄電池設備		充電方法	トリクル・浮動	使用別 [専用] ・ 共用
		DC 24 V 1.65 AH	インバーター出力	VA		
自家発電設備		単相 ・ 三相 AC V kVA				
警 報 装 置	⑥ 音声警報装置	増幅器出力	スピーカー個数	非常用放送設備と兼用		
		定格 120 W	18 個	[有] ・ 無		
	⑦ ガス漏れ表示灯	中継器付属のもの		その他のもの		
		12 個		個		
⑧ 検知区域警報装置	検知器付属のもの		その他のもの			
	26 個		個			
⑨ 配 線	常用電源回路	露出ケーブル・電線管露出・[電線管理設] ・ その他 ()				
	非常電源回路	耐火電線・電線管露出・電線管理設・その他 ()				
	検知器回路	[耐熱電線] ・ 電線管露出・電線管理設・その他 ()				
	警報装置回路	[耐熱電線] ・ 電線管露出・電線管理設・その他 ()				
	その他の回路	I V電線・露出ケーブル・電線管露出・電線管理設・その他 ()				
⑩ 工 事 者 区 分	電源及び配線	〇〇〇株式会社		機器取付	△△△株式会社	
		TEL : (〇〇〇) 〇〇〇 - 〇〇〇〇			TEL : (△△△) △△△ - △△△△	
⑪ 製 造 者 名	受信機製造会社	〇〇〇株式会社		型式番号	受第〇〇〜〇号	
	中継器製造会社	〇〇〇株式会社		型式番号	中第〇〇〜〇号	
	検知器製造会社	〇〇〇株式会社		型式番号	検第〇〇〜〇号	
⑫ そ の 他	移報装置は警備会社通報 耐熱電線・・・テープ巻式直線接続工法					

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○印で囲むこと。